



スズキ スイフト

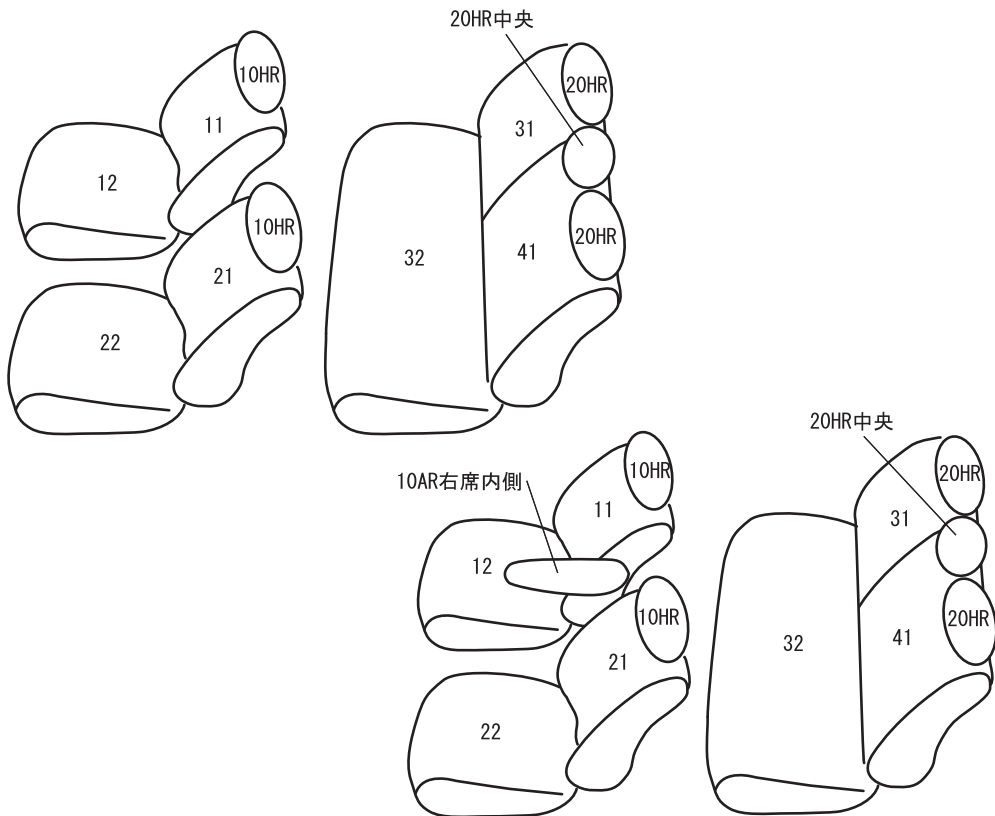
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

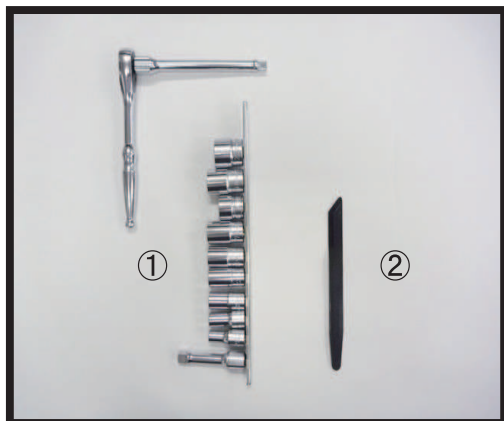
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6264/6265/6266

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② ヘラ (付属)



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL 072-330-8000 / FAX 072-330-8816

この度は当社商品を御購入いただき誠に有り難うございます。

取付の際は本書をよくお読みの上、十分な注意を払って慎重に取り付けましょう。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状(2番参照)の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

- ・一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。
- ※フックがツメのみで固定されている場合、フック取り外しの際に破損させてしまう恐れがあります。また、フック取り付け部とシートとの隙間が狭すぎる場合、カバーの生地が挟み込めず、加工には適さない場合があります。

1 列目座面



①カバーを裏返して、シートのラインに合わせてみます。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー外側に付いているプラスチックを、シートと図のプラスチック部の隙間に入れ込みます



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行ってください。



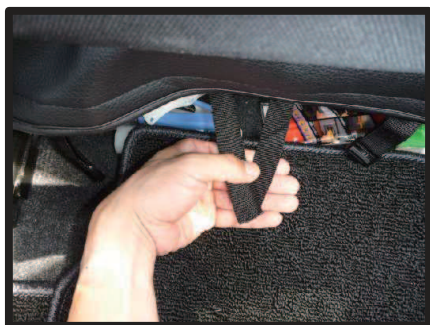
⑥カバー内側にはマジックテープが生地の裏に付いています。マジックテープはシートに直接貼り付けて固定します。カバー側面下の生地は、シート側面下に入れ込みます。



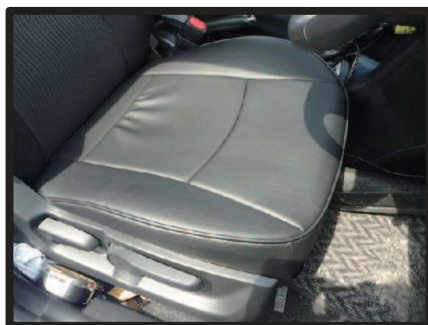
⑦カバー前方のベルトをスライドレバーの上を通してシートの背面へ入れ込みます。



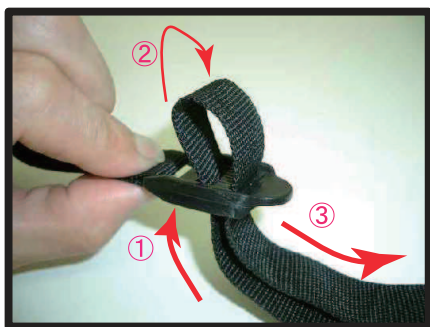
⑩1ページ④で引き出した生地についているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



⑧シートの背面からベルトを取り出します。ベルトは1ページ④で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



⑪カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取付けます。



⑨ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。

1 列目背もたれ

※運転席側アームレスト装備車は5ページ6ページをご覧ください

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、シート肩口の生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤ヘッドレストの台座を取り出します。始めに台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



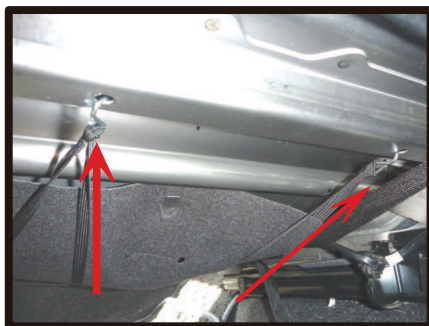
③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



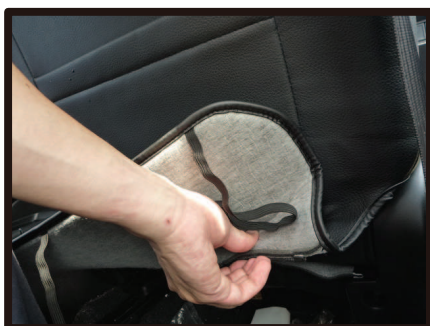
⑥生地伸びを利用して台座を取り出します。



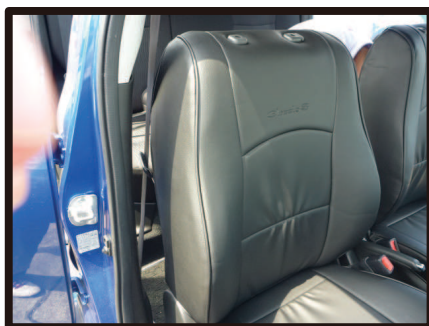
⑦図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から3ページ④の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返して、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



⑩シート前方から見たシート裏です。S字フックは図の金属部分に開いている、丸い穴に引っ掛けて固定します。



⑧カバー背面下と④で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑪サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。



⑨カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



※画像は取り付けの良くない例です。カバー側面に図のようなシワが残っている場合は、生地がシートに馴染んでいません。⑦の作業を繰り返す行なうことで改善されます。

1 列目背もたれ（アームレスト装備車）

⚠ 注意 ⚠

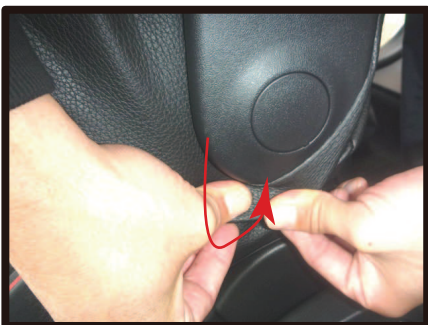
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

※運転席側はアームレストは外さずにカバーの取り付けを行います

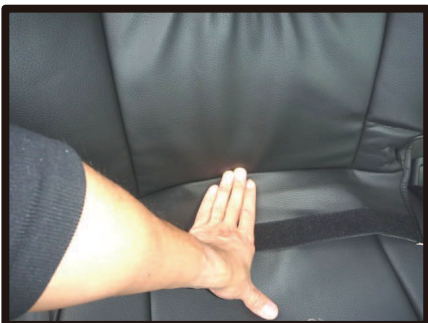


①カバーを半分程裏返して、シートにかぶせながら、アームレストをカバーの加工穴に通します。

※アームレストは専用の工具があれば取り外してカバーの取り付けを行うことも可能です。



②アームレストの軸部分は生地伸びを利用して、慎重にかぶせて下さい。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



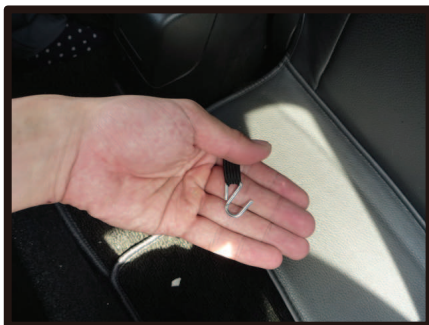
⑤ヘッドレストの台座を取り出します。始めに台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



⑥生地伸びを利用して台座を取り出します。



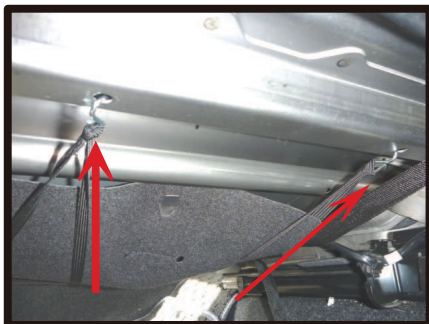
⑦図の①～③の順番に生地をなで下ろして、背もたれ中央下に寄った生地を、シート背面から3ページ④の生地を引き直して伸ばします。この作業を繰り返し、シートに密着させるようにカバーのシワを無くしていきます。



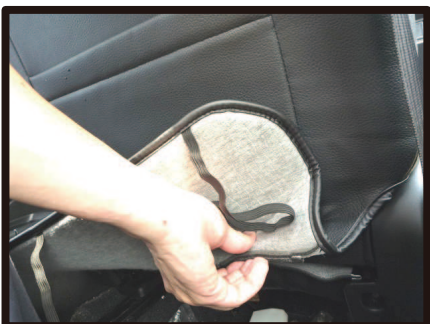
⑩カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



⑧カバー外側面のファスナーを生地を内へ寄せながら、慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



⑪シート前方から見たシート裏です。S字フックは図の金属部分に開いている、丸い穴に引っ掛けて固定します。



⑨カバー背面下と3ページ④で引き出した生地をマジックテープで固定します。



⑫サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。カバーのラインを整えて、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

2列目座面



① 2列目座面はシートを車体から取り外してから、カバーの取り付けを行います。シートを図のように持ち上げると矢印部分のシート裏にあるフックが外れて、シートが取り外せます。フックを外すのにある程度の力が必要になります。作業は慎重に行ってください。



④ シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



② 取り外したシートを作業の行いやすい場所に置きます。
カバーを裏返して、シートのラインに合わせます。



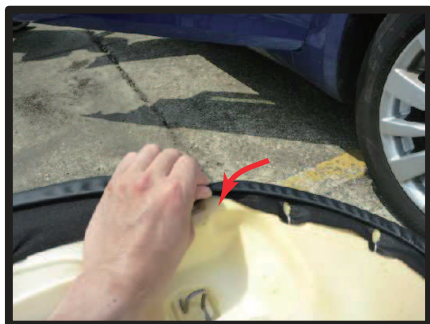
⑤ カバー側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



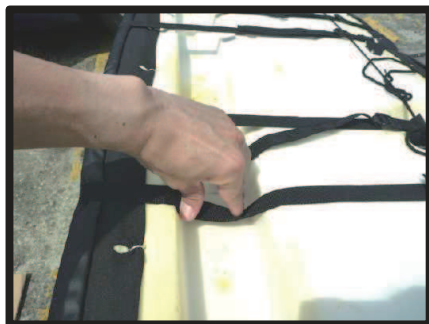
③ シートベルトが収まる部分に生地を入れ込みます。



⑥ もう片側のヒモを作った輪に通して引きます。ヒモを引くことでカバーの下回りが絞り込まれます。



⑦ヒモを絞り込む際に、ヒモを巻いている生地がシートの内側へ入るように、図のように指で引っ張ります。



⑩ベルトは強く引いてしまうとシートが車体に戻らなくなります。図のシート裏の凹み部分にベルトを指で押し付けて、少し突っ張るぐらいにベルトは調整して下さい。



⑧カバーの下回りを絞り込めたらヒモを結び留めます。

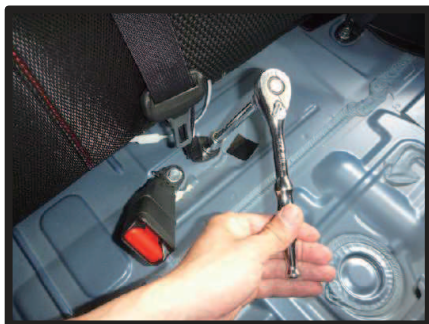


⑪カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。
シートは背もたれカバーを取り付けた後に戻した方が、背もたれカバーが取り付けやすくなります。



⑨シート裏にあるベルトを前後で6本固定します。

2列目背もたれ



①2列目背もたれの助手席側です。中央のシートベルトをソケットレンチなどを使用して外します。



④カバーを裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。
※図はシート中央から出ているシートベルトが無い、一部改良前のものになります。



②カバーの加工穴から①で外したシートベルトを取り出します。



⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



③シートベルトが出ている土台部分にヘラなどを利用して生地を入れ込みます。



⑥ヘッドレストの台座を取り出します。



⑦カバー側面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を矢印の方向へ寄せながら、慎重に閉じて下さい。



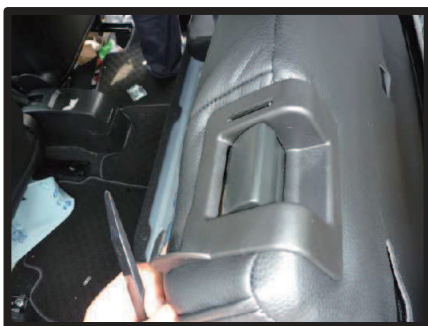
⑩図の形状のリクライニングレバーの付いた車です。加工穴からレバーを取り出して、プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



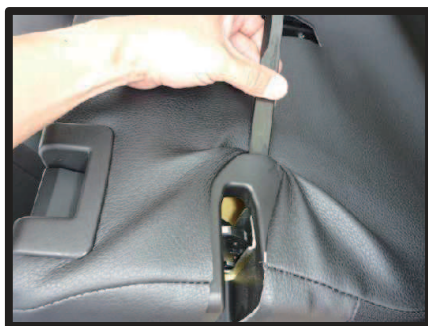
⑧肩口のリクライニングレバーをカバーの加工穴から取り出します。生地の端をリクライニングレバーのプラスチック部のフチに入れ込みます。



⑪リクライニングレバー部分は図のように収まります。



⑨肩口のリクライニングレバー部分は図のように収まります。



⑫シートを固定する部分もプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



⑬シートを固定する部分は図のように収まります。



⑭カバー正面下の生地を背面へ入れ込みます。



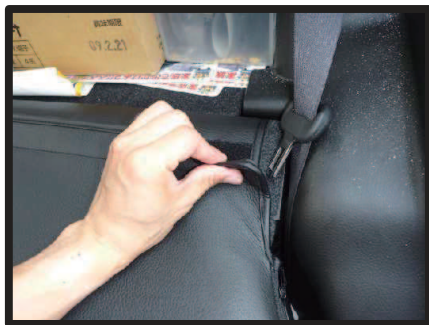
⑮シート背面のチャイルドシートを固定するバーの部分も、プラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



⑯入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
ラゲッジボードを外すと生地を容易に引き出せます。



⑰チャイルドシートを固定する部分は図のように収まります。



⑱引き出した生地とカバー背面下をマジックテープで固定します。

1列目ヘッドレスト



⑱シート正面下にあるチャイルドシート固定用バーを、カバーの加工穴から取り出します。



①カバーを裏返して、ヘッドレストのラインに合わせて、ヘッドレストの先端まで、しっかりとカバーをかぶせます。



⑳2列目背もたれ背面は、図のようになります。



②ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



㉑カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。
運転席側は一部形状は異なりますが同様に取り付けます。

※図は一部改良前のものを使用しています。



③ヘッドレストをシートから外しますヘッドレスト裏でプラスチックのフックで固定します。

2列目ヘッドレスト



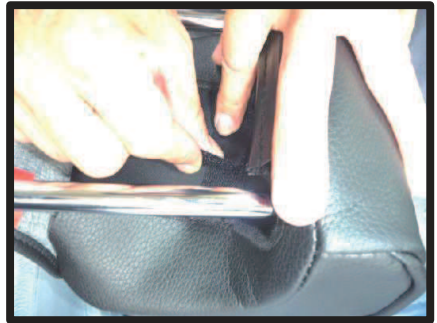
- ④プラスチックフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



- ①2列目ヘッドレストは先端部分から矢印方向へとかぶせます。



- ⑤ヘッドレスト裏は図のように収まります。



- ②ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。
1列目と同様にプラスチックのフックでカバーを固定します。



- ⑥ヘッドレストをシートに戻して、カバーのラインを整えます。
1列目ヘッドレストの完成です。



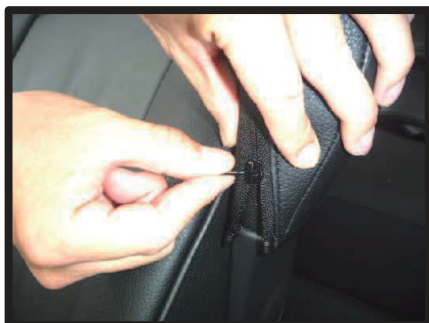
- ③ヘッドレストをシートに戻してカバーのラインを整えます。
2列目ヘッドレストの完成です。
※図は一部改良前のものです。2列目中央ヘッドレストも同様に取り付けます。

アームレスト

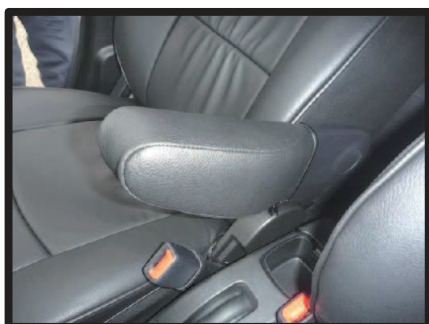
※アームレスト装備車のみ



①カバーのファスナーを開いた状態でアームレスト先端までしっかりとかぶせます。

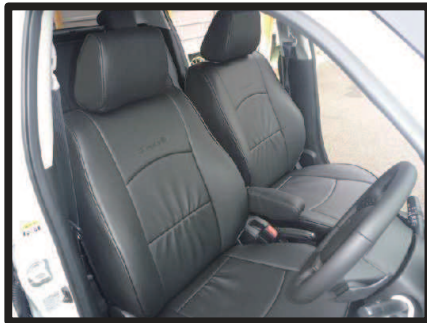


②ファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



③アームレストのラインを整えて、アームレストの完成です。

完成図



1列目



2列目
※一部改良前



1列目背面

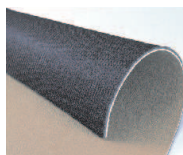


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

